



New Challenge

株主の皆様には、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当連結会計年度（2024年11月1日～2025年10月31日）の概況をご報告させていただきます。

木材事業においては、梱包マーケットが低迷を続ける中、新規顧客の開拓や既存顧客の潜在的需要の掘り起こしに注力し、前連結会計年度を上回る売上高となりました。このことは、ウッドショック時より一貫して取り組んできた外国産材から国産材への切り替え営業が着実に実を結び、梱包業界のリーディングカンパニーとして確固たる地位を築くことができたのではないかと考えております。

ハウス・エコ事業においては、前連結会計年度にグループ入りした寿鉄工株式会社の業績が通期で寄与するとともに、自動溶接ロボットの導入を行い生産能力の増強に努めるなど、成長を期待できる既存事業での高収益化を図り、戦略的な重点事業を定めて、経営資源を集中的に配分してまいりました。

また、当社においても官公庁大型物件の完工や受注時採算性の改善、内製化比率の拡大による原価低減により、収益性が大幅に向上いたしました。

その結果、売上高はM&A効果も上乗せされ過去最高の126億39百万円（前期比10.4%増）、営業利益は6億58百万円（前期比13.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は4億21百万円（前期比3.0%減）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 中浜 勇治

Q.1 2026年10月期の業績見通しについて教えてください。

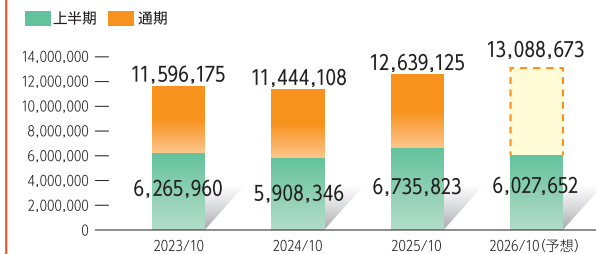
2026年10月期は増収減益を予想しています。

主力の木材事業においては、中国経済の停滞により梱包マーケットは低迷が続いております。また、完全週休二日制の導入によって工場稼働日は減少いたしますが、製材機械の減価償却終了（稼働開始の2018年6月取得分）により収益性が改善する見込みであります。その他にも、製材機械のトラブルを未然に防止することやトラブル発生時に短期間で復旧を可能とするための設備投資を行うなど、さらなる生産効率の向上を図ってまいります。

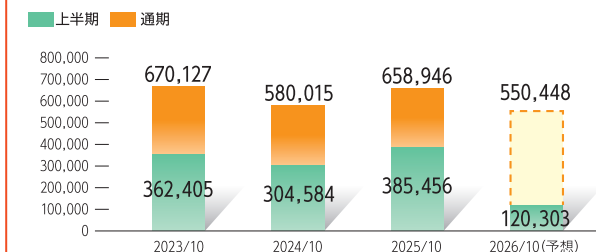
ハウス・エコ事業においては、当社において高水準の受注残高を維持していることや受注確度の高い案件が増加していることから、今後に期待が持てる状況となっております。一方、前連結会計年度より人材の確保が進んでおり、一時的に人件費割合が増加しております。これらの人材は、現中計「NEXT STEP 10」の最終年度や次の中計策定時において、中心的役割を担っていく人材であり、今後も優秀な人材の確保と育成は事業発展のための根幹と考え、適時必要な戦力となる社員の採用を行い育成していくことにより、業容の拡大に努めてまいります。

その結果、売上高は130億88百万円（前期比3.6%増）と2期連続して過去最高を更新、営業利益は人件費等の増加により5億50百万円（前期比16.5%減）を予想しております。

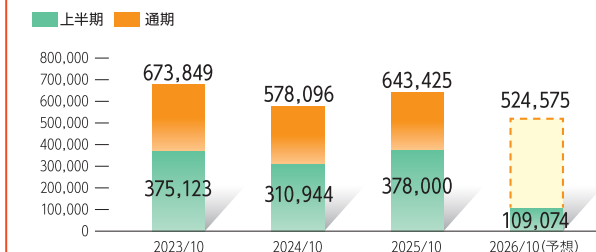
売上高（千円）



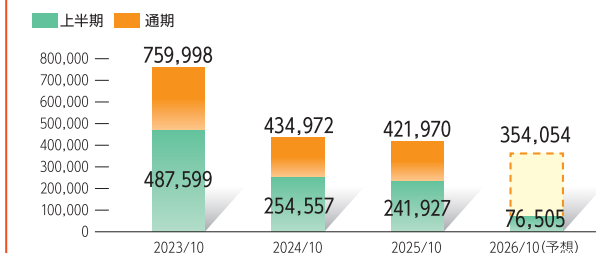
営業利益（千円）



経常利益（千円）



中間(当期)純利益又は親会社株主に帰属する中間(当期)純利益（千円）



※当社は2024年10月期より連結決算に移行しました。
従いまして2023/10は個別数値（参考情報）、2024/10、2025/10、2026/10（予想）は連結数値をそれぞれ記載しております。

Q.2 株主還元について教えてください。

2025年10月期1株当たりの年間配当額は当初予想より3円増配し60円とさせていただきます。なお、2026年10月期からは、安定的な財務基盤を維持した上で、株主の皆様に対する利益還元をさらに強化するべく、連結ベースの配当性向の目安を25%から30%に引き上げることといたしました。これにより、1株当たりの年間配当額は62円とさせていただく予定ですが、より一層業績の向上に努めてまいります。

セグメント別の概況

各セグメントの営業損益につきましては、全社費用等配分前で記載しております。
2024年度において、不動産事業から撤退したため、当連結会計年度より「不動産事業」の区分を廃止しました。

木材事業



売上高
2025年度 (実績)
7,442,915千円
(対前期 93,686千円) ▲

2026年度 (予想)
7,283,287千円
(対前期 ▲159,628千円) ▲

営業利益
2025年度 (実績)
301,080千円
(対前期 ▲128,078千円) ▲

2026年度 (予想)
380,091千円
(対前期 79,010千円) ▲

売上高
2024/10 7,349,229
2025/10 7,442,915
2026/10(予想) 7,283,287

営業利益
2024/10 429,158
2025/10 301,080
2026/10(予想) 380,091

(単位: 千円)

梱包マーケットは低迷するも、外国産材から国産材への切替営業を強化し、前期と同水準の製・商品出荷量を維持しました。虫害 (原材料の一部) の影響等もあり歩留率が低下し、減益となりました。

完全週休二日制の導入により工場稼働日が減少し、前期比5.9%の減産を計画しています。一方、福山工場立ち上げ時に導入した製材機械は2026年5月に減価償却が終了するため、収益性が改善します。

ハウス・エコ事業



売上高
2025年度 (実績)
4,357,633千円
(対前期 1,106,593千円) ▲

2026年度 (予想)
4,939,676千円
(対前期 582,042千円) ▲

営業利益
2025年度 (実績)
351,471千円
(対前期 205,931千円) ▲

2026年度 (予想)
231,797千円
(対前期 ▲119,674千円) ▲

売上高
2024/10 3,251,039
2025/10 4,357,633
2026/10(予想) 4,939,676

営業利益
2024/10 145,539
2025/10 351,471
2026/10(予想) 231,797

(単位: 千円)

寿鉄工株式会社の経営成績が期首から反映されたことに加えて、内製化比率の向上や価格転嫁によって利益率の向上が図られ、大幅な増収増益となりました。

高水準の受注残高に加えて、確度の高い案件を確実に獲得するための深耕営業を強化します。また、人材の採用によって一時的に収益性が低下するものの、グループ会社間での共同営業や提案型営業の強化を図り、大手ゼネコンや地場建設会社等との関係強化を図ります。

売上高
2025年度 (実績)
12,639百万円

営業利益
2025年度 (実績)
658百万円

58.9%
7,442百万円

45.7%
301百万円

53.3%
351百万円

34.5%
4,357百万円

3.6%
456百万円

3.0%
382百万円

7.5%
49百万円

45.9%
302百万円

全社費用等
-52.4%
-345百万円

太陽光発電売電事業



売上高
2025年度 (実績)
456,135千円
(対前期 9,099千円) ▲

2026年度 (予想)
449,460千円
(対前期 ▲6,675千円) ▲

営業利益
2025年度 (実績)
302,327千円
(対前期 17,737千円) ▲

2026年度 (予想)
265,320千円
(対前期 ▲37,007千円) ▲

売上高
2024/10 447,035
2025/10 456,135
2026/10(予想) 449,460

営業利益
2024/10 284,590
2025/10 302,327
2026/10(予想) 265,320

(単位: 千円)

一部の発電所でパワコンの故障があったものの、発電量の多い4月や空梅雨の7月において日照時間が長かったことから、増収増益となりました。

系統連系して10年経過する発電所があり、パワコンなど大規模修繕を計画しています。また、年2回の定期的なメンテナンスの実施や状況に応じて施設内の除草作業やモジュール洗浄を行い、効率の良い発電の維持に努めます。

ライフクリエイト事業 (ゴルフ場)



売上高
2025年度 (実績)
382,440千円
(対前期 1,949千円) ▲

2026年度 (予想)
416,250千円
(対前期 33,809千円) ▲

営業利益
2025年度 (実績)
49,654千円
(対前期 ▲19,859千円) ▲

2026年度 (予想)
61,420千円
(対前期 11,765千円) ▲

売上高
2024/10 380,491
2025/10 382,440
2026/10(予想) 416,250

営業利益
2024/10 69,514
2025/10 49,654
2026/10(予想) 61,420

(単位: 千円)

集客競争の激化に加えて、積雪や猛暑などにより来場者数は減少しました。一部料金値上げを実施したものの、クラブハウス等の修繕を行ったため、増収減益となりました。

物価高騰の影響でコース維持費等の増加が見込まれるものの、SNSを利用した情報発信等により集客を強化し、女性向けアメニティグッズの充実を図るなど、前期比4,000名の集客増を目指します。

③

④

トピックス

2025年10月期のハウス・エコ事業は、**営業利益351百万円**を計上。

利益面では中計を2年前倒して

最終年度(2027年10月期)の

数値目標**310百万円**を達成。

ハウス・エコ事業の計画数値を中心に

中計の見直し(上方修正)を実行。

木材事業

中計策定時(2022年)が外国産材の価格高騰・供給不足(いわゆるウッドショック)によって梱包マーケットは活況を呈していた時期でありました。

一方、現在の梱包マーケットは、長引く中国経済の低迷や米国関税問題など、短期的な回復は見込めないことから、本中計策定時の水準には届かないと想定しております。

ハウス・エコ事業

成長ドライバーに位置付けております重量鉄骨分野において、新たな顧客層の開拓や既存顧客の新領域案件獲得につながると考えております。

また、将来を担う人材の採用・育成が進んでいることに加えて、設計協力段階から早期に参画し、コスト・工期・技術的検討を踏まえた提案営業の強化が着実に成果として見込まれるため、本中計策定時の水準を超えてくるものと想定しております。

寿鉄工製作(鉄骨部)

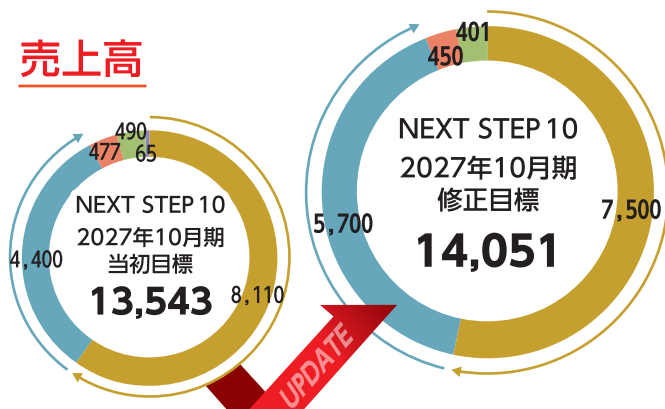
鳥取県立美術館



経営指標

■ 木材事業 ■ ハウス・エコ事業 ■ 太陽光発電売電事業
■ ライフクリエイイト事業 ■ 不動産事業 ■ 全社費用

売上高



NEXT STEP 10

2025年10月期 実績: 12,639

CHALLENGE 110

2022年10月期 実績: 11,338

見直しの背景

事業の選択と集中

中核事業である木材事業、ハウス・エコ事業の収益を拡大するためには、限られた経営資源を集中させる必要がありました。その過程の中で事業の選択と集中へ大きく方針を転換し、不動産事業や不採算部門からの撤退を行いました。

「Mグレード認定」取得の1年前倒し

2024年3月に鉄骨製作等における「Hグレード認定」取得(Mグレード認定の1つ上のグレード)の寿鉄工株式会社がグループ入りしました。

人材確保

2025年10月期にハウス・エコ事業において人材の採用が着実に進展し、前期比14名増の105名体制になりました。

株主還元

自己資本と有利子負債のバランス(D/Eレシオ0.8倍以下)が図られ財務体質の健全化が進みました。2026年10月期より配当性向の目安を25%から30%へ引き上げます(1年前倒し)。

営業利益



NEXT STEP 10

2025年10月期 実績: 658

CHALLENGE 110

2022年10月期 実績: 770

株主還元

配当性向



NEXT STEP 10

2025年10月期 実績: 25%→60円

CHALLENGE 110

2022年10月期 実績: 12.9%→40円

株式の状況

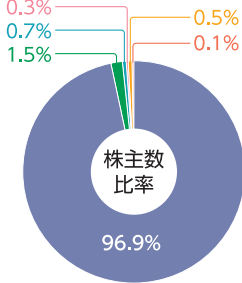
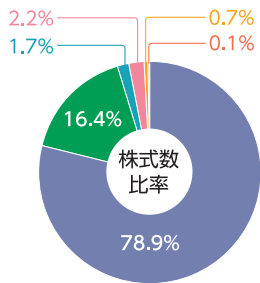
2025年10月31日現在

株式・株主
分布状況

- 個人
- その他国内法人
- 証券会社
- 金融機関
- 外国人
- 自己株式

発行済株式の総数 1,775,469株
(うち方自己株式 1,337株)

株主数 1,916名



会社概要

2025年10月31日現在



商 号	株式会社オービス
設 立	昭和34年(1959年)11月
資 本 金	709,742,251円
従 業 員 数	189名 (外、平均臨時雇用者21名※1日8時間換算)
本社所在地	広島県福山市松永町六丁目10番1号
監 査 法 人	有限責任 あずさ監査法人

役 員

2026年1月29日現在

代表取締役社長	中 浜 勇 治
専務取締役	梅 田 孝 史
常務取締役	谷 本 泰
取締役	井 上 清 輝
取締役	土 田 光 典
取締役	川 岡 公 次
取締役	玉 田 龍 治
取締役(社外)	小 山 幹 夫
常勤監査役(社外)	松 村 清 治
監査役(社外)	長 井 紳 一 郎
監査役(社外)	近 藤 哲 英

株主メモ

事業年度	毎年11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会	毎年1月開催
一単元の株式数	100株
基準日	定時株主総会 毎年10月31日 期末配当 毎年10月31日 中間配当 毎年 4月30日
公告の方法	電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法で行います。 [公告掲載URL] https://www.orvis.co.jp/ir_advertising/
上場証券取引所	東証 スタンダード市場
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-288-324



株式会社 オービス URL <https://www.orvis.co.jp>
〒729-0104 広島県福山市松永町六丁目10番1号 TEL.084-934-2621

UD FONT | 見やすいユニバーサルデザイン
フォントを使用しています。

大株主

〈上位10位〉2025年10月31日現在

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
中 浜 勇 治	438,670	24.73
㈱和 幸	164,300	9.26
肥 田 亘	50,000	2.82
藤 井 實	48,000	2.71
大阪中小企業投資育成㈱	44,000	2.48
宇 藤 秀 樹	43,000	2.42
鹿野産業㈱	41,900	2.36
萩野 幸治	41,900	2.36
山 本 康 司	40,000	2.25
中 山 恒 一	26,600	1.50

(注)持株比率は、自己株式1,337株を控除して計算しています。